

7 遊園地・テーマパーク

(1) 概況

～ 就業者数、年間売上高は減少、年間入場者数は増加～

福岡県の平成16年における遊園地・テーマパーク数は8事業所で前回調査(平成13年)に対し同数となり、就業者数は1502人で前回比 9.1%減少、年間売上高は85億83百万円で同じく 17.2%減少しました。

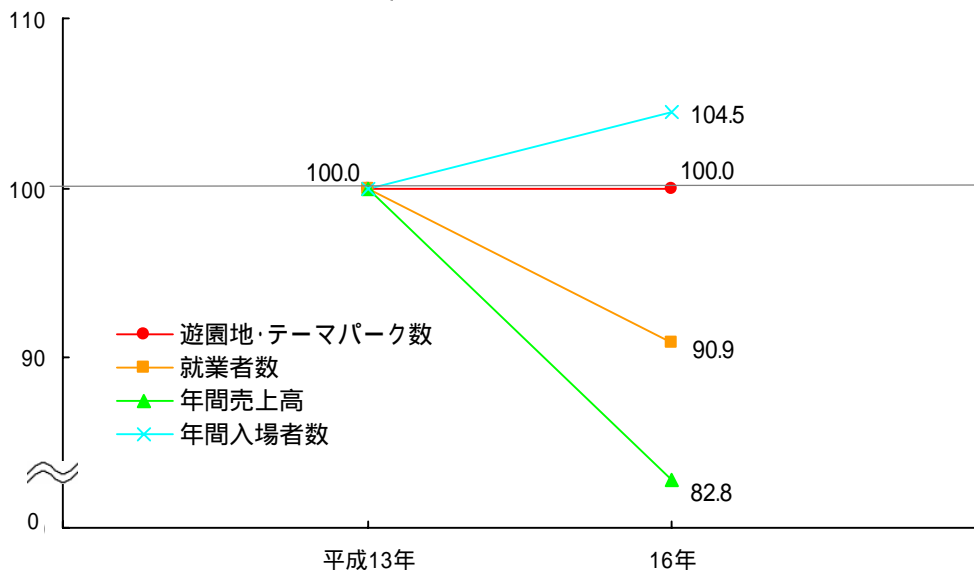
1遊園地・テーマパーク当たりの年間売上高は10億73百万円で前回調査(平成13年)に対し 17.2%減少し、就業者1人当たりの年間売上高は6百万円で前回と同額になりました。年間入場者数は437万623人で前回調査(平成13年)に対し4.5%増加しました。

表1 遊園地・テーマパーク数、就業者数、年間売上高等の前回比較

(単位:人、百万円)

区 分	平成13年	平成16年	前回比(%)
遊園地・テーマパーク数	8	8	0.0
就業者数	1,653	1,502	9.1
年間売上高	10,367	8,583	17.2
1遊園地・テーマパーク当たり 就業者1人当たり	1,296	1,073	17.2
年間入場者数	4,182,549	4,370,623	4.5

図1 遊園地・テーマパーク数、就業者数、年間売上高等の推移
(指数:平成13年=100)



(2) 就業者数

1502人、前回比 9.1%の減少

平成16年の就業者数は1502人で、前回に対し151人減少(前回比 9.1%減)となりました。

【男女別】

就業者数を男女別にみると、「男」が638人(構成比42.5%)で前回比15.4%の増加、「女」は864人(同57.5%)で前回比 21.5%の減少となりました。

図2 男女別就業者数の構成比

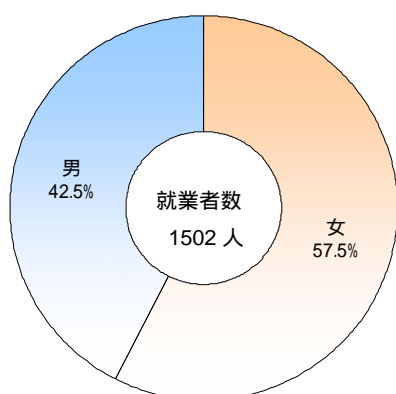
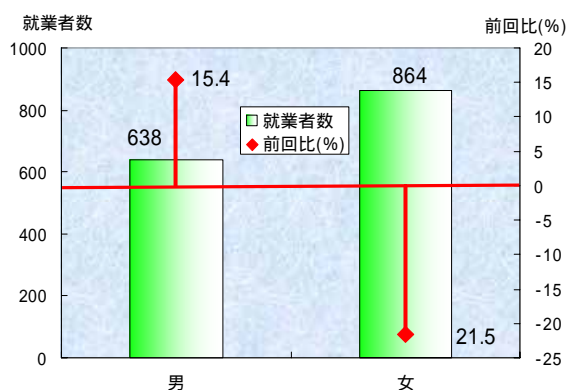


図3 男女別就業者数及び前回比



【雇用形態別】

就業者数を雇用形態別にみると、臨時雇用者が981人(構成比65.3%)と最も多く、前回に比べ大幅に増加しました。

図4 雇用形態別就業者数の構成比

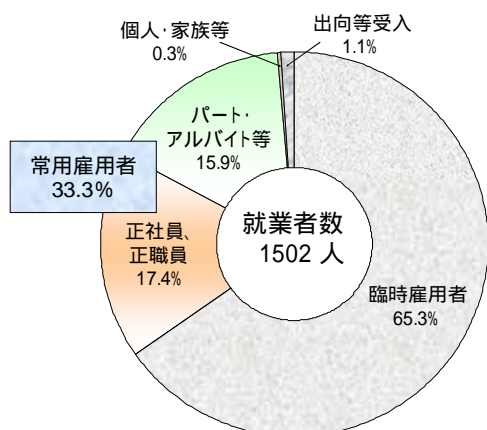
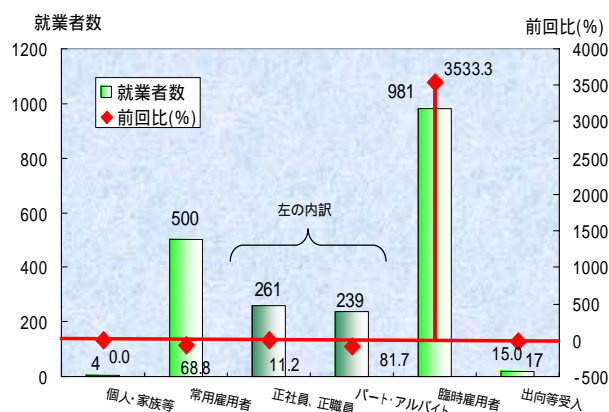


図5 雇用形態別就業者数及び前回比



【部門別】

就業者数を部門別にみると、「現業部門」が511人(構成比34.0%)と最も多く、次いで「食堂・売店(直営)」が503人(同33.5%)と両部門で全体の7割弱を占めています。

また、前回に比べると、他の部門が減少する中、「出札・案内部門」(前回比310.4%増)は大幅に増加しました。

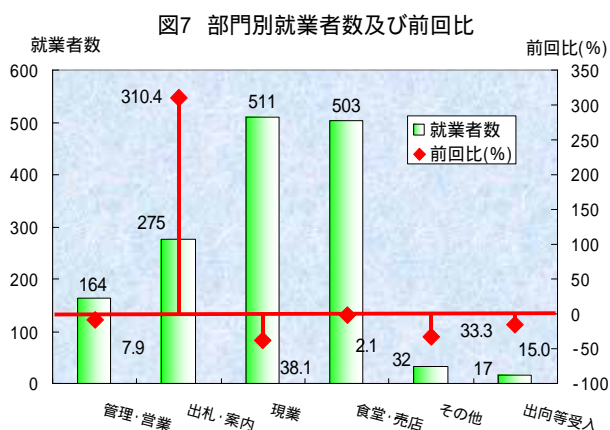
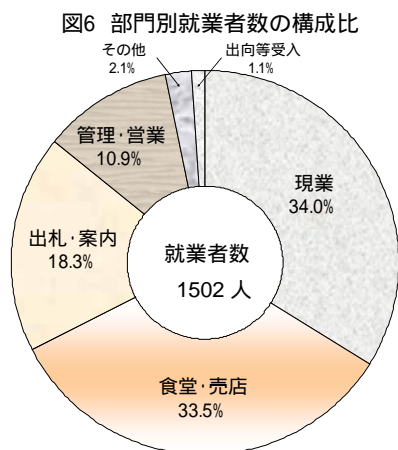


表2 男女別、雇用形態別、部門別就業者数

区 分		平成13年		平成16年		
		人数	構成比	人数	構成比	前回比
計		1,653	100.0	1,502	100.0	9.1
男女別	男	553	33.5	638	42.5	15.4
	女	1,100	66.5	864	57.5	21.5
雇用形態別	個人事業主、無給家族従業者又は有給役員	4	0.2	4	0.3	0.0
	常用雇用者	1,602	96.9	500	33.3	68.8
	正社員、正職員	294	17.8	261	17.4	11.2
	パート・アルバイト等	1,308	79.1	239	15.9	81.7
	臨時雇用者	27	1.6	981	65.3	3,533.3
	出向・派遣者(受入)	20	1.2	17	1.1	15.0
部門別	管理・営業部門	178	10.8	164	10.9	7.9
	出札・案内部門	67	4.1	275	18.3	310.4
	現業部門	826	50.0	511	34.0	38.1
	食堂・売店(直営)	514	31.1	503	33.5	2.1
	その他	48	2.9	32	2.1	33.3
	出向・派遣者(受入)	20	1.2	17	1.1	15.0

(3) 年間売上高

85億83百万円、前回比 17.2%の減少

平成16年の遊園地・テーマパークの年間売上高は85億83百万円で、前回に対し17億84百万円減少(前回比 17.2%減)となりました。

【収入区分別】

年間売上高を収入区分別にみると、構成比の最も大きな「入場料・施設利用料金収入」が36億48百万円(構成比42.5%)、次いで「食堂・売店(直営)売上収入」が25億72百万円(同30.0%)と、両収入で売上高全体の7割超を占めています。

また、前回に比べると、「入場料・施設利用料金収入」(前回比 33.8%減)、「駐車場利用料金収入」(同 18.2%減)などが減少しています。

図8 収入区分別年間売上高の構成比

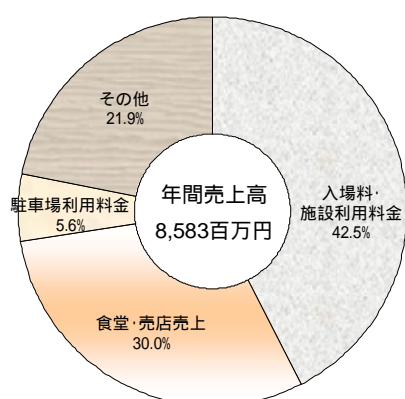


図9 収入区分別年間売上高及び前回比

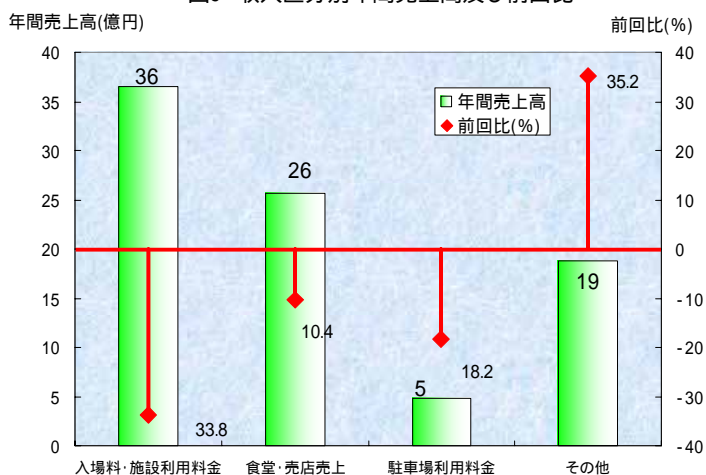


表3 収入区分別年間売上高

区 分	平成13年		平成16年		
	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	前回比 (%)
計	10,367	100.0	8,583	100.0	17.2
入場料・施設利用料金収入	5,514	53.2	3,648	42.5	33.8
食堂・売店(直営)売上収入	2,871	27.7	2,572	30.0	10.4
駐車場利用料金収入	588	5.7	481	5.6	18.2
その他の収入	1,393	13.4	1,883	21.9	35.2

(4) 都道府県別の状況

年間売上高を都道府県別にみると、福岡県は85億83百万円(1遊園地・テーマパーク当たりの年間売上高は10億73百万円)と全国の1.4%を占めています。

図10 遊園地・テーマパーク数の構成比

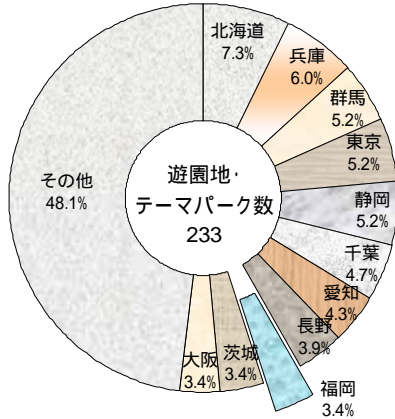


図11 就業者数の構成比

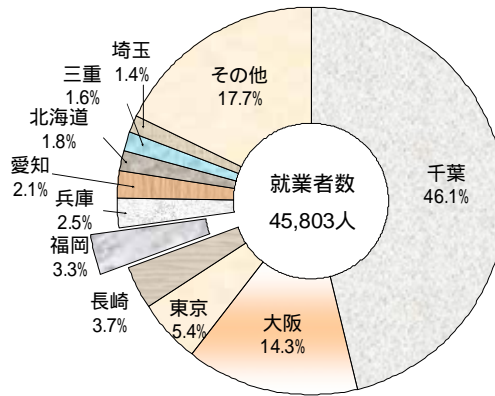


図12 年間売上高の構成比

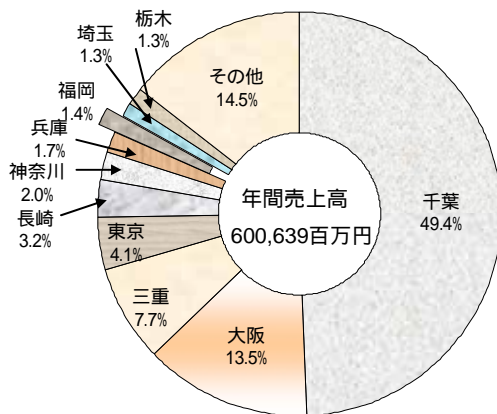


図13 年間延べ入場者数の構成比

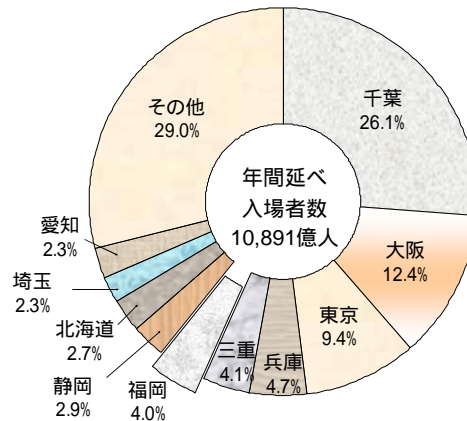


表4 都道府県別の状況(上位10都道府県)

順位	遊園地・テーマパーク数	就業者数 (人)	年間売上高 (百万円)	年間延べ入場者数 (人)
	全国計 233 (100.0%)	全国計 45,803 (100.0%)	全国計 600,639 (100.0%)	全国計 108,908,578 (100.0%)
1	北海道 17 (7.3%)	千葉 21,126 (46.1%)	千葉 296,674 (49.4%)	千葉 28,397,918 (26.1%)
2	兵庫 14 (6.0%)	大阪 6,566 (14.3%)	大阪 81,123 (13.5%)	大阪 13,556,209 (12.4%)
3	群馬 12 (5.2%)	東京 2,486 (5.4%)	三重 46,048 (7.7%)	東京 10,272,130 (9.4%)
4	東京 12 (5.2%)	長崎 1,684 (3.7%)	東京 24,683 (4.1%)	兵庫 5,158,176 (4.7%)
5	静岡 12 (5.2%)	福岡 1,502 (3.3%)	長崎 19,125 (3.2%)	三重 4,432,375 (4.1%)
6	千葉 11 (4.7%)	兵庫 1,144 (2.5%)	神奈川 12,098 (2.0%)	福岡 4,370,623 (4.0%)
7	愛知 10 (4.3%)	愛知 959 (2.1%)	兵庫 10,022 (1.7%)	静岡 3,144,851 (2.9%)
8	長野 9 (3.9%)	北海道 816 (1.8%)	福岡 8,583 (1.4%)	北海道 2,983,582 (2.7%)
9	福岡、茨城、大阪 8 (3.4%)	三重 749 (1.6%)	埼玉 7,751 (1.3%)	埼玉 2,540,264 (2.3%)
10		埼玉 658 (1.4%)	栃木 7,695 (1.3%)	愛知 2,477,462 (2.3%)

()内の数値は、構成比を示しています。
秘匿項目のある県については、掲載されない場合があります。